

第 28 回(2015 年度)
名古屋大学宇宙地球環境研究所・年代測定研究部
シンポジウムプログラム

日時:2016 年 1 月 28 日(木) 10:00~17:30(受付開始 9:45)

2016 年 1 月 29 日(金) 09:15~14:20(受付開始 9:00)

※各講演の開始時刻は変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

場所:野依記念学術交流館2階

【2016 年 1 月 28 日(木)】

10:00-10:30 開会の挨拶および新研究所設立経緯と今後の共同利用研究に関して
榎並正樹 (名古屋大学宇宙地球環境研究所)

〔センター施設報告〕

(座長:榎並正樹)

10:30-10:45 CHIME の現状と利用(2015 年度)
加藤文典・榎並正樹・奈良郁子 (名古屋大学宇宙地球環境研究所)

10:45-11:00 名古屋大学タンデトロン AMS¹⁴C システムの現状と利用(2015 年度)
中村俊夫・タンデトロン年代グループ (名古屋大学宇宙地球環境研究所)

〔一般講演 セッション1〕

(座長:南雅代)

11:00-11:20 西暦 774-775 年の ¹⁴C イベントと酸素同位体比年輪年代法に基づく青森市新
田(1)遺跡アスナロ材の暦年代の検証

箱崎真隆(国立歴史民俗博物館)・中村俊夫(名古屋大学宇宙地球環境研
究所)・大山幹成(東北大学植物園)・木村淳一(青森市教育委員会)・佐野
雅規・中塚武(総合地球環境学研究所)

11:20-11:40 沖縄県伊江島の ΔR と遺跡の較正年代

小元久仁夫(元 日本大学)・中村 俊夫(名古屋大学)・松島 義章(神奈川
県立生命の星・地球博物館)

11:40-13:00 ポスターセッション(コアタイム 12:30-13:00)・昼食

〔招待講演 1〕

(座長:榎並正樹)

13:00-13:45 グリーンランド・イスア地域の岩石から読み解く約 38 億年前の生命圏

大友陽子(北海道大学大学院工学研究院)

〔一般講演 セッション 2〕

(座長:加藤丈典・奈良郁子)

13:45-14:05 南部北上帯、氷上花崗岩と大野層の CHIME モナザイト年代

鈴木 和博・柴田 賢・浅原 良浩・アブドゥルザーラ イマド ガディム

14:05-14:25 福島第一原発事故に伴う福島県の放射性物質の汚染---2015 年の状況---

千葉茂樹(福島県立小野高等学校平田校)・諏訪兼位(名古屋大学名誉教授)・鈴木和博(名古屋大学名誉教授)

14:25-14:30 前年度に蓄えられた炭素を使って成長する梅の実

田中剛(名古屋大学宇宙地球環境研究所)

14:30-14:40 休憩 (時間調整)

〔一般講演 セッション 3〕

(座長:小田寛貴)

14:40-15:00 北海道厚真川下流域の上部更新統～完新統のボーリングコア(AZK-103・AZK-112 孔)とピートサンプラーコア(HAP-1・AKP-1 孔)の地質解析および AMS¹⁴C 年代測定について

岡 孝雄・中村俊夫・近藤 務・星野フサ・安井 賢・関根達夫・米道 博・山崎芳樹・若松幹男・前田寿嗣・乾 哲也・奈良智法

15:00-15:20 北海道厚真川流域の上部更新統～完新統のボーリングコアにおける植生変遷の解明―層相解析・AMS¹⁴C 年代測定・珪藻分析の成果をもとに―

星野フサ・中村俊夫・岡 孝雄・近藤 務・関根達夫・米道 博・山崎芳樹・安井 賢・若松幹男・前田寿嗣・乾 哲也・奈良智法

15:20-15:40 北海道厚真川下流域の上部更新統～完新統のボーリングコアにおける珪藻化石群集と古環境の解明―層相解析・AMS¹⁴C 年代測定・花粉分析の成果をもとに―

安井 賢・岡 孝雄・近藤 務・中村俊夫・星野フサ・関根達夫・米道 博・山崎芳樹・若松幹男・前田寿嗣・乾 哲也・奈良智法

- 15:40-15:45 洞内滴下水の ^{14}C 濃度を決める要因
南 雅代(名古屋大学宇宙地球環境研究所)・堀川恵司(富山大学大学院理工学部)・植村立(琉球大学理学部)・中村俊夫(名古屋大学宇宙地球環境研究所)
- 15:45-16:00 加熱実験による現生イノシシ骨の化学組成と結晶構造の変化
椋本ひかり(名古屋大学大学院環境学研究科)、南 雅代(名古屋大学宇宙地球環境研究所)、中村 俊夫(名古屋大学宇宙地球環境研究所)
- 16:00-16:15 河川堆積物中の meteoric- ^{10}Be 濃度の解釈
藤沢純平(名古屋大学理学部地球惑星科学科)・南 雅代(名古屋大学宇宙地球環境研究所)・國分陽子(日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター)・北川浩之(名古屋大学大学院環境学研究科)

16:15-16:30 休憩

[一般講演 セッション 4]

(座長:加藤丈典・奈良郁子)

- 16:30-16:45 青銅器の緑青を用いた年代測定の可能性について
小田寛貴(名古屋大学宇宙地球環境研究所), 山田哲也(元興寺文化財研究所), 塚本敏夫(元興寺文化財研究所), 加藤丈典(名古屋大学宇宙地球環境研究所)
- 16:45-17:00 韓国、京畿地塊の CHIME モナザイト年代
鈴木和博 (名古屋大学宇宙地球環境研究所)
- 17:00-17:15 電子プローブマイクロアナライザー(EPMA)における高計数率エックス線の高確度測定
加藤丈典(名古屋大学宇宙地球環境研究所)
- 17:15-17:35 西暦 775 年宇宙線イベントに関する半年精度の ^{14}C 濃度測定
増田公明・三宅美沙・中村俊夫(名古屋大学宇宙地球環境研究所)
- 18:00-20:00 懇親会(会場:花の木(学内レストラン, 講演会場より北東へ徒歩 2 分))

【2016年1月29日(金)】

[一般講演 セッション 5]

(座長:奈良郁子)

09:15-09:35 フィリピンでの広域テフラネットワークに関する研究:ピナツポ, パーカー, マツ
ツム火山, およびパイタン湖でのボーリング掘削

奥野 充(福岡大・理・噴情研)・中西利典・山崎圭二・鮎澤 潤・田口幸洋
(福岡大)・中村俊夫(名古屋大)・Arturo Daag・Raymond Patrick
Maximo・Ericson Bariso・Cathy Pogay・Thessa Quilalang・
Robjunelieaaa Lim(フィリピン地震火山研究所)・洪 完(韓国地質資源
研究院)・鳥井真之(熊本大)・藤木利之(岡山理科大)・鹿島 薫(九州大)・
小林哲夫(鹿児島大)

09:35-09:55 動物骨の放射性炭素年代と安定同位体組成からみる水稻農耕展開期の北
陸地方の遺跡環境-八日市地方遺跡を例として-

宮田佳樹(金大 環日センター), 南雅代(名古屋大学宇宙地球環境研究
所), 下濱貴子(小松市埋文センター), 長尾誠也(金大 環日センター), 多
田洋平・佐野雅規・中塚武(地球研), 中村俊夫(名古屋大学宇宙地球環境
研究所)

9:55-10:00 休憩 (時間調整)

[招待講演 2]

(座長:南雅代)

10:00-10:45 能登半島で観測されるPM2.5の季節的特徴

松木 篤(金沢大学環日本海域環境研究センター)

[一般講演 セッション 6]

(座長:南雅代)

10:45-11:05 牟呂八幡宮神幸祭神輿渡御での相撲神事と御鉾(鉄鉾)

西島玄悟・岡田真人(豊橋市牟呂八幡宮神幸祭神事相撲保存会)

11:05-11:25 真脇遺跡の調査成果

高田秀樹(能登町真脇遺跡縄文館長)

11:25-11:45 古代の鉄の生産・流通(2)―操業開始年代の検討―

中村俊夫(名古屋大学宇宙地球環境研究所) 丸山竜平

11:45-12:00 平成 27 年度名古屋大学地域貢献事業 夏休み特別企画「粘土鉱物の謎に
迫る」活動報告

吉田澯代、南雅代(名古屋大学宇宙地球環境研究所)、三崎純市(三信鋳工株式会社)、田村 哲(愛知県陶磁美術館)、中村俊夫、加藤文典、小田寛貴、池田晃子(名古屋大学宇宙地球環境研究所)、箱崎真隆(国立歴史民俗博物館)、棕本ひかり(名大・院・環境学研究科)、藤沢純平(名大・理学部)、榎並正樹(名古屋大学宇宙地球環境研究所)

12:00-13:00 ポスターセッション(コアタイム 12:40-13:00)・昼食

[特別学術講演]

(座長: 榎並正樹)

13:00-14:00 加速器質量分析技術の発展と応用研究の拡大
中村俊夫(名古屋大学宇宙地球環境研究所)

14:00-14:20 閉会の挨拶(榎並正樹)・アンケート記入

ポスター発表

(野依記念学術交流会 1F 玄関ホール 28日 11:40-13:00, 29日 12:00-13:00)

基礎セミナーで名古屋大学キャンパス内の放射線源を調べる

棕本ひかり・田中剛(名古屋大学宇宙地球環境研究所)

^{10}Be を用いた表面照射年代測定による大規模水循環変動期特定の試み
(平成 27 年度 新研究創成経費研究報告)

奈良郁子(名古屋大学宇宙地球環境研究所)・渡邊隆広(東北大学)・堀内一穂(弘前大学・理工学研究科)

湖底堆積物中の Rb/Sr 比は気候変動の指標となるか?

奈良郁子(名古屋大学宇宙地球環境研究所)・渡邊隆広(東北大学)・宮原ひろ子(武蔵野美術大学)・加藤文典(名古屋大学宇宙地球環境研究所)・掛川武(東北大学・地学専攻)・山崎慎一(東北大学・環境科学研究科)・土屋範芳(東北学・環境科学研究科)

水試料の放射性炭素測定の相互比較プログラム(RICE-W)に向けた基礎検証: 比較試料の確保にむけた取り組み

高橋浩(産業技術総合研究所), 南雅代(名古屋大学宇宙地球環境研究所), 荒巻能史(国立環境研究所), 高橋正明(産業技術総合研究所), 中村俊夫(名古屋大学宇宙地球環境研究所)

人工海水を用いた沈殿法の検討-高塩濃度の水試料に沈殿法が使えるか-

南雅代(名古屋大学宇宙地球環境研究所)・高橋浩(産業技術総合研究所)

愛知県矢作川中流域河床埋没林の加速器質量分析による ^{14}C 年代

中村俊夫(名古屋大学)・太田友子(名古屋大学)・森 勇一(金城学院大学)

日本刀の加速器質量分析による ^{14}C 年代測定

中村俊夫(名古屋大学)・江藤孝一(福岡刀研ぎ師)・藤本隆雄(オランダ出島屋)

モルタルの高精度 ^{14}C 年代測定に向けての検討

中村俊夫(名古屋大学)・太田友子(名古屋大学)・山田哲也(元興寺文化財研究所)

講演者のみなさまへ

口頭発表:

時間は、一般講演 20 分(研究部外発表者)および 15 分(研究部内発表者)、特別講演 45 分、特別学術講演 60 分(質疑応答・交代時間を含む)です。

時間厳守をお願いいたします。

発表の際は、パワーポイント(Windows・Mac 双方対応)をご使用下さい。

ご自身の PC を使用することも可能です。

ポスター発表:

会場設置のポスターボード(幅 90cm, 高さ 180cm)をご使用下さい。

コアタイム(28 日 12:30-13:00, 29 日 12:40-13:00)には必ずポスターの近くにおいて下さい。

シンポジウム終了時に未撤収のポスターは、事務局側で破棄します。